

丸山湿原群保全の会会報

(第 188 号)

発行日：2023 年 (R5) 3 月 15 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061 (今住)E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com**戦争は最大の環境破壊と差別を生み出します！**

東日本大震災から 12 年、あちこちで特集が組まれています。テレビで流れる映像が映画の様で現実と思えなかったのを憶えています。片やトルコ・シリア大震災はすっかり話題から消え、WBC の話で持ちきりです。かくいう私も中継を聞きながら書いているのですが…すべてのことは同時進行。もちろんウクライナの戦争も。喜びも悲しみも全て日常。しかし心のどこかで人の痛みや悲しみを共有することは大切。

もう一つ。放送業界の行政文書。「捏造」という言葉が大臣から飛び出しています。あそこまで疑った文書が捏造できるのでしょうか？こちらドラマの光景を見ている様。戦時中のプロパガンダが再び行われるのではないかと思うほどです。政治家に対する「忖度」をしなければ「捏造？」また人の命が気になります。既にプロパガンダは始まっているのかもしれない。

国レベルだけでなく地方自治体レベルでも…ドラマの脚本はいまや真実か？

実は私が書いているのもプロパガンダ。全く世間に影響はありませんが…書いているのもチャット Gtp かも。
(今住 3 月 13 日作成)

両生類卵塊数調査 ★2 月 25 日 (土) 第 1・第 3 湿原で実施

昨年までは午前中にセミナーを行い午後湿原で卵塊数調査を実施していたのですが、事情があり今回は調査のみの実施になりました。参加者は「保全の会」メンバー 6 名、一般参加 11 名。計 17 名。変な言い方ですがちょうどいい人数。ご家族連れや「北摂里山大学」今季卒業生など意欲的な方ばかり。西谷の方も参加。ありがたい。

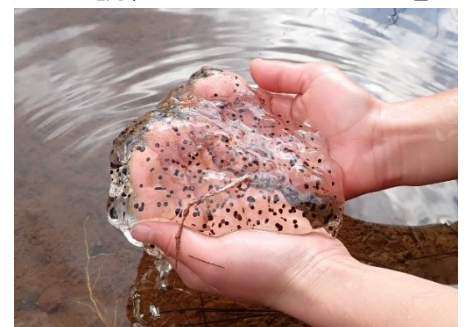
主催としては、調査なんですけど卵塊数がわんさかあってほしい。しかしそううまくいかないのが



見つけた 卵塊確認

自然。例年アカガエル類の卵塊は結構見つかりますが、セトウチサンショウウオ(瀬戸内山椒魚)の卵囊は数個。今回も準備の際にはいくつかの卵囊を見つけていますが、なぜか消える…

このことについてはドロボー説、アライグマ説、シカ・イノシシの踏みつぶし説、カラス(鳥)説などなどいろんな説が飛び出しています。ところがまた再び現れることも。その時にはずいぶん発生が進み、中で動いていることがあります。シルトに埋まって見えなくな



いつもの場所の卵塊(ニホンアカガエル?)

っていたのか、草の陰に入り込んでいたのか。とにかく調査日に見つけた数は少なくとも、かなりの数の隠れ卵囊はあるようです。



比較的見つけやすいセトウチサンショウウオ卵囊 と

かなり見つけにくい卵囊

卵塊(カエル類)や卵囊(セトウチサンショウウオ)を自分で見つけたときの感動はえも言われぬものがあります。しかも見たこともないものならなおさら。写真では見たことある

かもしれないけど…アカガエル類の生みたてのものはまるでゼリーの様。しかもタピオカのようにツブツブがくっついている。美しい！（気持ちが悪いという方もおられますが…今回はこれが目当てなので）

セトウチサンショウウオの卵囊はバナナが2つで1つの卵囊。写真はシルトに埋まりかけた状態のものほとんど埋まったもの。水が流れシルトがかかると分からんわな～見つけた時は超ハッピー。皆さん必死に探した結果ですが、アカガエル類卵塊 13 塊。セトウチサンショウウオ卵囊は3対しか見つかりませんでした。準備で見た2対はどこへ？また来年探しましょう。

定期活動 ★2月26日(日) 連日の活動ご苦労さんです。第1 湿原又マガヤ刈り(残り)

連日の活動です。昨日の両生類卵塊数調査のライン撤収。加えて第1 湿原に残っている又マガヤの処理など。実は延期になっていた西谷小学校環境学習の準備も兼ねています。



子どもたちのために？準備

この日は寒かった。準備というのは、小学生に「作業体験」と称してまじで手伝ってもらおう仕事です。前回の活動日に山積みにした又マガヤですが、雨や雪が降りペシャンコに。今年度はせっかく2学年も来てくれるのに少なかったら失礼？というわけで又マガヤ増量作戦。結局日にちが延期になったおかげで我々の作業量が少なくて済むという見事な連携が成立する。と目論んだわけ…環境学習は翌日。我々「急



分水界付近のササ刈り

長靴を履き JR で。実は「大阪動植物海洋専門学校」の講師の方。会員の同僚とか。来年度、「環境保全の学習」で参加できないかと「下見」に来られ、こき使われるはめに。「都会では息が詰まりそうですが、ここは気持ちがいいです」と言っていたのがありがたい。しかし、相当寒かったようでお気の毒な部分も。専門学校との「協働作業」、実現できればいいのですがどうでしょうか。作業は順調に進んで第1 湿原南東部分も片付きました。別動隊は「分水界」近くのササ刈りも。



赤い長靴が素敵！ありがとうございました！

丹波市森林組合の間伐作業も終了。第 2 湿原視点場の東側はずいぶん明るくなりました。いつもの棚形式の処理。ツツジ類は残すことになっていますが歩道からはほとんど確認できず。てっぺんの方には多く生えていたが、道際（斜面下部分）には少なかったとのこと。やはり日当たりの問題か。この作業で、第 1 湿原への水分供給量も増える？と思うのですが…水文学的には増えるはず？シルトはどんなんだ？こちらはハゲ地（バッドランド）が必要か。それとも薄い土壌の下を雨が流すのか…水とシルトの収支は不明。湿原が痩せていっているようにも感じます。あかんがな。感覚ね。

ほんとに丁寧な作業です 4000 m²

環境学習 ★2月27日（月） 西谷小学校3年・4年 保全作業体験

3日連続の活動。少々息切れ気味か。子どものエネルギーを吸収し復活してやる。というより利用ですな。先に書いたようにいちばん嫌いな作業、又マガヤ類の運び出しを「体験」と称してお願いしています。本当に助かります。保護者2名も参加。保護者、地域、児童、教師が一体となった活動？



これは草集めではなく生き埋め中



天才！沼茅茸職人 中に人が 宿泊予定



いや～助かりました

乾燥した又マガヤの香り、風を防ぎ暖かい。「住める」と感じました。子ども時代、学校の帰りに田んぼの藁束を「失敬」し、近くの山のズリまで運んで小屋を作った記憶がよみがえりました。怒られたような…与えられるのではなく、自分で工夫して「遊ぶ」ことの大切さをこの子たちは持っていると感じました。遊び続けてね。西谷に住んでいるのだからもっと家の周りの野山も探検してみてもは？不思議生物（希少な）は意外に身近にいますよ！怒られても知らんけど…

素晴らしい！西谷校区では「PTA」とは言わず「PTCA」と言います。「C=community=地域」まさしく今回の活動か？もう少し積極的にかかわらないといけないかもしれないと反省の意味も込めて紹介しておきます。しかしよく頑張ってくださいました。

同時進行で雑木伐採。ちょっと太い物や、ソヨゴの再萌芽した枝をノコギリを使って伐ってもらいました。手鋸はなかなか難しいのですが、結構太いものも伐倒。達成感もあったのではないかと思います。

その後は両生類の卵観察と探索やほとんど野遊び状態。よく遊びました。注目は細い倒木と又マガヤを使ったテントづくり。縄文時代の住居が誕生したのかと…中に入るととってもいい気持ち。



ぼつぼつ卵探し 目がいい



かなり太いリョウブの伐倒中



さあ次はビビンバ 国語と算数もあるよ

協働活動 ★3月11日(土) やっと実現「北摂里山愛す会」との協働

毎月第2土曜は基礎調査日ですが、**毎年計画してなかなか実現できなかった「北摂里山愛す会」との協働を実施。**なぜこの時期なのか？これまでの計画はいつも真冬。雪など滅多に降らないのに



得物を前に記念写真「愛す会」

計画すると大寒波。これまで3回中止になっています。今回は満を持して3月に。晴天！ところが気温が20℃越えという初夏の陽気。「愛す会」何か変な力を持っているのではないかと勘繰るくらいです。花粉は多いが気持ちはいい？「いい汗」を流すことができました。今回の作業は第2湿原。第1回の協働作業でもお願いしました。今回は南側(下流部)の谷が狭くなったところ付近。湿原内も又マガヤが茫茫で陸化が進行しています。谷が少し深く、作業に入りづらい場所です。第2湿原視点場の真下あたり。眺めはいい。ということは高低差が大きいということです。皆さん意欲満々。手にノコギリ、草刈り鎌(鋸刃)、北摂里山剪定ばさみ(岡恒)、刈り払い機とそれぞれの「得物」を手にほとんど会話も無くしかし楽しげに、再萌芽常緑樹やササ、又マガヤを刈り取っていきます。里山大学の教育は素晴らしい、と入学したことの無い私は感じました。それぞれの活動場所でもご活躍のようで、ボランティアの鑑か？枯れ松も増えてきてるのですが今回はスルーしようと言っていたのですが、「伐っていい？」と。「どうぞどうぞ」数本の枯れ松の処理までしていただきました。手鋸で。

湿原の堆積しかけの又マガヤ(沼茅)も処理したのですが、驚くべき



湿原内下手 かなり陸化が進行中



又マガヤほぼ刈り取り終了 卵も発見

務処理。又マガヤの運び出しや倒した松の処理。疲れ切らない前に終了としました。

感謝！ 今後もお待ちしていますのでよろしく願います。「うちにも手伝いに来てもらわないと…」のひと言が心に残りました。各自自主的に助け合いましょう！

※データは3月14日計測

目的	市内	市外
丸山	52	37
登山・ハイキング	47	29
散歩	11	5

来場者数計 181 人
(竹筒ポスト集計)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
入口	9:38	10.5℃		
第3湿原	9:52	【7.9℃】	32.3 μS/cm	6.3
視点場	10:39	14.6℃	29.9 μS/cm	5.9
第1湿原	10:44	【9.0℃】	30.0 μS/cm	6.6
第2湿原	10:58	【6.1℃】	36.0 μS/cm	6.3

次回活動日 3月26日(日) 4月8日(土) 4月23日(日) 5月13日(土)